

穂

おほしたつる君がちからにひつじほの
いねもゆたかにうちなびきつつ 佐藤仁之助先生歌書

穂 — ひつじほ —

2026.6
vol.

88



「ね」二〇二五作

菅谷惇貴

僕と惇貴君との「指導員と生徒」としての関係はざっと15年ほどになる。過去を遡って調べると、彼が初めて貼り絵に取り組んだのは《2018年3月》とある。以来ここ7、8年はほぼ貼り絵技法イッポン槍の作家である。ファーストチャレンジのその日を、僕はよく覚えてい。何故なら、今までの描画や版画では「センセツハイ(注:次に何をしたら良いか指示してください!の意)」と言い放ち、机でフリーズしてしまうか、席を立ててその場でぐるぐる回るか…の行動が多分にみられ、遅々として手が進まないでいた惇貴君だったのに、貼り絵だけは違ったからだ。一意専心に制作に没頭し…だが決して、強迫思想的、では無く悠々楽しげに口角を上げて取り組んでくれているもんだから驚いた。

そしてソレは今現在も継続して変わらず。彼の真剣ソノモノで在りつつも微笑んでいる横顔を目にする度「嗚呼、惇貴君は生来貼り絵技法が滅法馴染むんだ、性に合う技法と出逢えて良かったよなあ」と、しみじみ思う。講師冥利に尽きる気持ちにさせられて僕は幸せである。

アトリエ・オクト講師 松田 拓実



踏むな 育てよ 水そそげ

令和8年度 事業計画

春濤会 理事長 久保寺 玲

令和8年度が始まり、早くも盛夏の時期を迎えようとしております。日頃より、当法人の事業運営にご理解とご協力を賜っております皆様、心より感謝申し上げます。

機関誌『稔穂』年度当初号をお届けするにあたり、令和8年度事業計画の概要についてご報告申し上げます。

1 令和8年度について

令和8年度は、第3期中期経営計画の中間年度にあたります。令和10年度を迎える創設100周年を見据え、創設者の理念を柱に、法人の将来につながる取り組みを進めてまいります。

また、100周年記念事業プロジェクトを推進し、法人の歴史と想いを次世代へつないでまいります。

2 理念の浸透と基本方針の着実な実践

社会福祉法人には、理念に基づき、利用児・者お一人おひとりを尊重した支援を行い、良質な福祉実践を通して社会の期待にこたえていくことが求められています。

当法人では、学園標語「踏むな 育てよ 水そそげ」と、創設者遺訓「園児を友とする心」を大切にしながら、法人理念と基本方針の共有を進めています。これらは、子どもたちを支える職員の拠り所であり、法人運営の原点であると考えています。

3 重点課題と取り組み

前年度に引き続き、以下の重点課題に法人一丸となって取り組んでまいります。

- (1) 100周年プロジェクトの具現化
- (2) 信頼を高める
- (3) 地域とつながる
- (4) 未来をつくる人をそだてる
- (5) 道を切り開く

4 財務改善

持続可能な法人運営を実現するため、引き続き財務状況の改善に取り組みます。

収支状況の分析や経営診断の受診等も検討しながら、経営基盤の強化を図ってまいります。

5 人材確保・育成・定着

法人の発展と質の高い支援体制を実現するため、人件費の適正化と計画的な人材確保・育成・定着に取り組めます。

6 危機管理対応

前年度に引き続き、各施設・事業所において事業継続計画（BCP）や感染症対応に関する研修・訓練を着実に実施し、危機管理対応力の向上に努めてまいります。

子どもとともに歩む

障害児入所施設 八幡学園
園長 鷲巣 徹也



子どもたちの門出を見送り、 新たな出会いを迎える春

4月に入ってまだ間もないというのに初夏の到来を思わせるような日が続いています。今年もまたあの危険なレベルの暑さに見舞われることになるのでしょうか。

学園といえば年度替わりの3月後半に3名、4月当初に3名の子ども達が次々と卒園してきました。卒園された皆さんの健康と新天地でのご活躍をお祈りいたします。

日々の体験を大切に。 気持ちを分かち合う関わりへ

さて、学園はこれから新たなメンバーを随時迎え入れていくことになっていきますが、引き続き子ども達にとって心地の良い暮らしの場と人間関係の得られる場としていくために、新たな目標を持って取り組んでいきたいと思えます。

今年度は「子どもから信頼される関係の構築」を重点課題としました。私たちはここ数年来「子どもの声に耳を傾ける（言葉や態度にできない心の声も含めて）」ことに取り組んできました。まだ道半ばではありますが、子どもが「NO!」と拒否できる雰囲気づくりと、子どもの気持ちを汲み取ったうえで「言い聞かせ」を含めて丁寧に対応しようとする姿勢が定着してきたように思えます。

寝る前は 好い時間のチャンス

その日の出来事を振り返りながら
言葉や気持ちを交わします



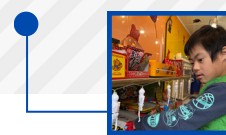
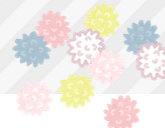
今年度は、それに加えて子ども達が日々の暮らしの中で体験する様々な出来事や、その時に抱いた感情を職員が共有／共感することに力を入れていきます。良い事も悪い事もあるでしょうが、子どもの話を聴き、職員の気持ちや思いも伝えていく・・・、ひとつの体験を共に分かち合えるような日々の営みを大切にすることが、子どもから信頼され、お互いのつながり／絆を深めていく道筋なのではないかと考えています。そして、それは職員にとっても仕事への手応え／やりがい／張り合いにつながる重要な要素であると思えます。

Hot Topics



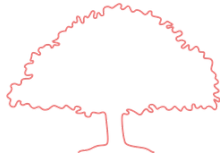
ハッピーモンスターがやってきた?!

「モンスター...?」と、その名前に子どもたちはドキドキ。正体が駄菓子の移動販売だとわかったら、一気に目を輝かせ、夢中になってお菓子を選んでいました。こんなモンスターなら、いつでも大歓迎だね!



よりそい、ささえ、 つながる

こども発達支援センター やわた
通所統括長 徳江 美由起



新たな一歩。

新年度を迎え、子どもたちの表情には、新たな一歩へのドキドキやわくわくがあふれています。今年度も、一人ひとりの『わかった！できた！うれしい！たのしい！』を大切にしながら、笑顔があふれる毎日を積み重ねていきます。私たちは、子どもたちが安心してチャレンジできるよう、背中をそっと押しながら、一歩一歩を支えていきたいと思っています。どんな一年になるのか、とても楽しみです。

子どもの育ちを 地域で支える

今年度、センターやわたの大きな取り組みとして、児童発達支援の定員拡充と支援体制の充実を図っていきます。つくしんぼ教室は定員を20名に増員し、拠点も2か所に拡大しました。従来の『センター棟』の他に、学園の一部を『センター分室』として用途変更をし、センター棟では4～5歳児中心のきりんグループ、分室では2～3歳児中心のこあらグループが活動しています。拠点が増えたことで、部屋の使い方に余裕ができ、子どもたちものびのび過ごせるようになりました。

また、新たに作業療法室と心理療法室を設け、専門職による個別療育（外来）も開始しています。地域で不足している専門的な支援を提供できる体制づくりを進めています。

わんぱく全開で遊びつくそう！

元気に走り回ったり
アスレチックやジャンプシーソー
砂遊びに虫探し
みんな外遊びが大好きです



さらに、地域とのつながりづくりにも、より一層力を入れていきたいと考えています。恒例のおもちゃ図書館の他にも、イベントを企画していきますので、ご期待ください。

センターやわたは、障害児支援の中核拠点として、子どもたちが地域の中で安心して過ごせるよう、ご家族や地域の皆様とのつながりを深めながら、『地域全体でまるごと支える体制』づくりに取り組んでまいります。



Hot Topics

『ほしのへや』と『そらのへや』

子ども達は、『ほしのへや』（作業療法）と『そらのへや』（心理療法）が楽しみで、自分の順番が来るのを心待ちにしています♡

地域の方の外来療育もお受けしています。



新たなチャレンジで 花ひらく一年へ

放課後等デイサービスひまわり
副長 山縣 苑子



ひまわりの 新しい一年がスタートしました！

春のやわらかな日差しに包まれながら、新しい年度が始まりました。ひまわりでは、今年度3名のお子さんを送り出し、新たに5名のお子さんを迎え、総勢25名でのスタートとなりました。春は、子どもたちにとってワクワクする気持ちが膨らむ一方で、少し不安を感じやすい季節でもあります。そんな一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる時間を大切にしていきたいと考えています。

新しい関わりのかたち 専門職とともに広がるチャレンジ

今年度は、児童指導員5名に加え、新たに作業療法士を1名迎えました。身体の動かし方や発達に合わせた関わりを通して、子どもたちの成長をより専門的な視点から支えていきます。

作業療法士との活動は、子どもたちにとって少し特別な時間になっているようで、声をかけると、嬉しそうに小走りでOT室へ向かう姿も見られ、私たちも思わず笑顔になります。こうした日々の中で見られる小さな変化や成長を、大切に見守っていきたいと思います。

新しい体制のもと、これからも子どもたちが安心して自分らしく過ごせる場所であり続けられるよう、取り組んでまいります。

みんな大好きバルーン

大きな布がふわりと羽ばたき
カラフルなボールが空を舞う
みんなで息を合わせて動かすたびに
心地よい風が広がり
自然と笑顔があふれます



今年度の重点的な取り組みは、以下です。

1. 地域に根ざした支援の充実
 - ・ 職員の専門性向上
 - ・ 地域ニーズの把握と連携強化
 - ・ 権利擁護意識の向上
2. 安心して利用できる体制づくり
 - ・ 支援の質と満足度の向上
 - ・ 職員体制の充実
3. 安定した運営に向けて
 - ・ 効率的で無理のない運営
 - ・ ご家族支援と地域連携



Hot Topics



ホールに巨大な蜘蛛の巣出現！

蜘蛛の巣のように、ホール一面張り巡らせたテープ。子どもたちは上手にくぐり抜けられるかチャレンジ中！

この活動では、ボディイメージを養いながら、身体の使い方を楽しく学んでいきます。



地域の遊び場「おもちゃ図書館」

こども発達支援センターやわた 大野 由衣

皆さん、『おもちゃ図書館』をご存知ですか？

『おもちゃ図書館』とは、たくさん並んだおもちゃの中から、子ども達が自由におもちゃを選んで、遊ぶことが出来る場所です。

現在、春濤会の『おもちゃ図書館』は、年に5回、地域にお住まいの0～6歳のお子さんと保護者、ごきょうだいなどを対象に、障がいがある子もいない子も一緒に、無料で遊べる場所として開催しています。広いホールで思いきり体を動かしたり、初めて見るおもちゃにワクワクしたり。お子さんを遊ばせながら、保護者同士でおしゃべりをしたり、子育ての相談をしたりと、ゆったりと過ごせる場にもなっています。また、ボランティアでご協力くださる地域の方や学生さんにとっても、小さなお子さんと触れ合えるステキな機会となっています。



Poster 地域の掲示板に都度掲載中！

今日何をしよう？
と思ったら、
おもちゃ図書館であそぼう。

11.30 10:00~15:00 SUN

こども発達支援センターやわた
市川秀本北方1-13-11 八幡学園内

047-303-5007
※成田バス(東入口)より徒歩3分
※JR常磐線南千住駅より徒歩10分

参加費無料
出入り自由
駐車場あり

昨年度は、「イベントも楽しんでもらおう！」と、毎回さまざまな企画を取り入れて開催しました。パネルシアターやスヌーズレン体験、焼き芋屋さんなど、『おもちゃ図書館』の活動に賛同してくださった講師や団体の皆さんにご協力をいただき、年間約400名もの方にご来場いただきました。「いつも楽しみにしています！」と歩いて来てくださる皆勤賞のご家族や、船橋市など遠方から車で来てくださるご家族もあり、回を重ねるごとに輪が広がっていることをうれしく感じています。

今年度も『おもちゃ図書館』は、奇数月(3月を除く)の最終日曜日10:00～15:00に、年5回開催予定です。地域ボランティアの皆さんや、新たな講師・団体のお力も借りながら、さらに愛される『おもちゃ図書館』を目指していきます。ぜひ皆さんも遊びにいらしてください！

NEW MEMBERS

新入職員紹介

5名の新たな職員を迎えました。

それぞれがこれまでの経験や思いを大切にしながら、子どもたちの支援に携わっていきます。新しい環境の中で戸惑うこともあるかと思いますが、日々の関わりを通して、一歩ずつ歩んでいってくれることを願っています。今後とも、あたたかく見守っていただけますと幸いです。

こども発達支援センターやわた

中村 琴美・星 優妃

放課後等デイサービスひまわり

杉淵 明日香

障害児入所施設 八幡学園

町田 真緒・山岸 麻弥



----- 間接支援職員 採用紹介 -----

2025年度内に、栄養士として新甫 真紀さんを新たに迎えました。食の面から子どもたちの健やかな成長と日々の暮らしを支える体制を整えています。

寄附 御礼 - ご支援をいただいた皆様 -

平野 和男
荒井 克彦
平川 和子
滝澤 美津子
小林
酒井
宇田川浩一郎
大森 千恵
石橋 初子
ダスキン島屋
鈴木 良一
光隆寺
渡辺 あけみ
二本松ちづ子
松丸 節子
鈴木 美智代
源 真希
安田
長江 悦子

東小岩小学校
矢崎
藤澤 祐介
小野田 由美子
松岡 一衛
高橋
森 治子
三村 周二
杉山 久美子
内木 美樹
小石 貴子
高野 富子
橋本 孝
花房 恭子
坂井 恵
藤田 郁夫
永島 誠
株式会社日冠
若張

鈴木 秀幸
最徳寺藤原永至
外山 京子
立道 和久
田中 玲子
増田 勝男
横山 亮子
寺嶋 富子
近藤 宏
和泉短期大学
北村 勇雄
木村 恵隆・立枝
渡辺 義久
吉川 治子
神作 彩子
宇野 浩
木野 佳代子
鈴木 孝政
秋元ふとん店

道口 雄一郎
若宮幼稚園
片山 直樹
社本 晃明
宮腰 俊弘
二宮 護
ミヤジマ
菲澤 美香
橋田 道明
今吉 倭穂
水本 淳子
小林 廣美
瀬畑 宏
鈴木 勝久
磯部 利江子
マツダ
後藤 邦彦
岩田 恒也
中越 慶雄

武田 智
林 修
吉澤 明
矢島 陽一
岡本 順子
岡 信男
金子
吉澤 恭香
高橋 春実
原野 たま
木下 敦子
高橋優・奈緒子
五十嵐 久子
川勝 文雄
相川 隆英
小坂 登志江
刀根 正孝
長江 和義
ナカネ

一般社団法人こどもたいし
ふとんのシオン
有限会社麻布ガーデン
セイコー部品工業株式会社
株式会社光伸清運
株式会社トータル総合サービス
ウェルネオシュガー株式会社
市川手をつなく親の会
有限会社飯田紙業



敬称略・順不同
令和6年9月～令和8年3月

>>>> 温かいご支援に、心より感謝申し上げます <<<<

アトリエ・オクト 活動報告



01 『untitled』

作者：小林 駿斗
制作年：2025
技法：ペン、色鉛筆、クレヨン



02 『ライオンの夫婦』

作者：嶋田 莉玖
制作年：2025
技法：ミクストメディア



03 『ねこ』

作者：濱野 美穂
制作年：2025
技法：ミクストメディア
*第12回 いちかわ未来の画家コンクール 佳作受賞

ご支援のお願い

皆さまからお寄せいただいたご支援は、学園で暮らす子どもたちの日々の生活や、地域で暮らす子どもたちへの支援に大切に活用させていただいております。

子どもたち一人ひとりが、その子らしく安心して過ごせる毎日のために、皆さまの温かいお気持ちが大きな支えとなっています。

これまでのご厚意に心より感謝申し上げますとともに、今後とも温かなご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



振込先口座番号 ゆうちょ銀行 〇二九(ゼロニキコウ) 支店(029) 当座 0118552
口座記号番号 00250-5-118552番
口座名称(漢字) 社会福祉法人 春濤会
口座名称(カナ) フク シュントウカイ

- ご寄附のお申込みは、ホームページの「寄附のお申込フォーム」もご利用いただけます。
- 税制上の優遇措置をご希望の方は、寄附申込書のご提出をお願いいたします。
- ご寄附は、お振込みのほか、現金書留や学園事務所へのご持参でも承っております。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。